

福祉保健などのサービスの情報がいつでも入手できるように蓄えられています。また、個人のプライバシーや人権への配慮をしつつ、利用しやすい情報伝達のしくみによって、手軽に気軽に情報が活かされるまちをつくりたい。

いつでも必要な情報が利用できます

地域の声

情報の伝わりにくい高齢者へは、わかりやすい情報を繰り返し届けることが必要



災害時に手助けが必要な人がどこにいるのかわからない。プライバシーの問題もあるけれど...



サービスや制度の情報を持っている人がいても、まちの中に広がらない

回覧板は1世帯で1人が見るだけ。家庭内でも情報が広がりにくい



困っているときにどこに伝えればよいかわからない。困ってから探すのでは間に合わない



転入してきた人に地域の情報が伝わりにくい



地区センター等の施設の空き状況がわからない

地域ケアプラザの催しの情報が欲しい

ケアマネジャーの空き情報が欲しい

基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 14 サービスを利用するための必要な情報が蓄えられています
- 15 だれもが利用しやすい情報伝達のしくみがあります
- 16 お互いの立場を尊重しながら情報が交換され、

地域の課題が共有されています



▲ 神之木地区懇談会の様子

始めよう! みんなで第一歩

「取り組み紹介」

★...地域での取り組み ◆...区役所での取り組み ♥...区社会福祉協議会での取り組み

- ★ 子育て情報誌編集講座受講生が自分たちで取材、編集、印刷し、幼稚園についての情報誌を作りました。
- ★ ふれあい訪問(民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、ボランティアからなるひとり暮らし高齢者等の訪問)では、介護の情報だけではなく、地域の防犯などの情報も伝えるようにしています。
- ★ ある地域では、地域情報を地域の人が集めて、「地区社協便り」として独自に編集し、地域内に配付しています。
- ★ ある地域では、子育て中の人や高齢者が利用できる地域のサービスや施設の情報を、それぞれまとめてパンフレットにし、地域の駅・商店・医療機関等、地域の人が手に入れやすい場所で配付しています。
- ★ 老人クラブで介護保険の研修を行なっている地域があります。
- ★ あるまちでは「地域支えあい連絡会」の広報紙を、その地域の各世帯に配布しています。
- ◆ 行政の情報や身近な地域の情報を盛り込んだ子育ての情報誌を、区民の皆さんと一緒に作ります。(子育て情報誌：子ども家庭支援担当)
- ◆ 区内、及び隣接区周辺の医療機関を、一覧と地図にして提供しています。(神奈川区 医療施設マップ：事業企画係)
- ◆ 食生活等改善推進員会との協働で、栄養バランスなどを考えたヘルシーメニューや健康体操などの情報を盛り込んだパンフレットをつくり、区民の健康づくりをサポートします。(区民健康づくり事業：健康づくり係)
- ◆ 介護保険の認定を受けた方が、ケアマネジャーの空き情報を探しやすいよう、ホームページや相談窓口で情報提供します。(ケアマネジャー空き情報：介護保険担当)
- ◆ 地域でもっと充実した生活を送れるように、地域の活動者や団体の代表と区役所等が集まり、その地域の課題と解決策を検討しています。(地域支えあい連絡会：地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、サービス課、福祉保健課)
- ♥ ボランティア情報誌の発行やボランティア掲示板で、ボランティアの募集やPRをしています。(区社会福祉協議会)

「あったらいいな」

地域の情報が学校で校内放送されたらいいな。

地域の中の施設・公園などみんなが使えるところをリストにして、わかりやすくできたらいいな。

若い人向けの地域の情報紙を、若者が中心になって作れないかな。(お年寄りとの交流はここでできるとか、バザーとか)

かめ太郎クイズ⑦

【問題】神奈川区では毎年健康診断を受けている人はどのくらいいるでしょう?

- ①18歳以上の7割
- ②18歳以上全員
- ③18歳以上の4割

【答え】p20

かめ太郎クイズ⑧

【問題】神奈川区民の健康状態の特徴としてあげられるものは次のうちどれでしょう?

- ①肥満の人が多い
- ②アルコールをたくさん飲む人が多い
- ③急性心筋梗塞で亡くなる人の割合が多い

【答え】p20